

2024年3月3日  
JK1GBE ジイビー

昨年からはじめたボケ対策としての試験勉強は電車通勤によってどうにか続けられており、1陸特取得以降は2月9日の国家試験で航空特殊無線技士（航空特）を取得できた。航空特では電気通信術（フォネティックコードの送受話）の実技試験もあった。その練習法として試験までできるだけ航空無線以外ワッチしないことにした。理由は耳から入った単語が頭に残って送話時に戸惑うことがあるからだ。特に多いのが国名等、A アメリカ、B ボストン、F フロリダ、J ジャパン、T トーキョー、Y ヨコハマなどである。私は何故か Q クイーンが出てきてしまうことがある。（泣）試験の際、学生以来久々の実技試験で緊張したのか、だいぶ早口になったようで送話終了後に試験官からスピード違反と言われ、えっ、不合格？と思わず聞いてしまった。「相手が聞き取れるような速さで」という意味だったようだ。（汗）

それでその資格が何になるの？と家族に聞かれた。勿論ボケ対策と単なる自己満足でしかないのだが、そこは、宝くじが当たってセスナ機買って空飛ぶときに必要だと答えて呆れられた。（笑）

2海特の試験勉強では遭難、衛星通信など興味深かったが、航空特も二次レーダーとか機上気象レーダー、トランスポンダ、GPS など安全飛行に必要な無線計器類の仕組みが分かってとてもよかった。

これで陸海空（1陸特、2海特、航空特）が取得できたが、1海特だけ残っている。これには英会話の実技試験があるので、英語がまだ聞き取れる（？）うちにチャレンジできればと思っている。

最初からタイトルと関係ない話が長くなってしまった。（許）これは当初第二種電気工事士（工事士）の筆記試験が2月にあると勘違いして勉強を始めたが、後に上期の筆記試験 CBT 方式が4月、通常が5月、実技試験が7月だと分かって時間に余裕ができ、以前から興味があった航空特の試験にトライしたので報告させてもらった。（どうにか二兎を追う者は一兎も得ずにならないですんだ）

本題に戻って、航空特の受験後直ちに工事士の試験勉強を再開したが、案の定、数値絡みの記憶が怪しくなっていた。そこで新たに参考書、過去問集を入手して気合いを入れ直したところ、今まで丸暗記に頼っていた問題の理解も進み、現時点での正解率は70%前後まで上がってきた。が、まだまだギリギリである。安心して受験でき確実に合格するためには、目指すは過去問連続正解と回答時間短縮。しかしながら、頭の回転速度が-10dB（個人比）のジイビーにとって時間短縮が一番キツイ。参考書には2時間で50問の試験に合格するためのコツとして、計算問題と配線読解問題は後回しが鉄則のようで、記憶問題で合格点を確実にした上で余裕があれば追加点を増やす作戦が勧められているのだが、ジイビーはその記憶問題でさえ長い文章の問いと選択肢を読んでその意図を正確に理解するのに時間がかかってしまう。雑にさっと読んでしまうと引っ掛けにまんまとやられてしまう。（悔）記憶に自信があれば引っ掛けからないはずなので、これはやはり過去問を繰り返すしかないかと。更に少しでも時間短縮になれば CBT 方式でマークシート時間を削減する作戦でいるのだが、効果のほどは如何に！？

4月の受験まで残り2か月弱となった今、努力不足だったと悔いが残る結果とならぬよう、少しでも時間短縮できるよう、最近にわかになんか煩くなってきた帰りの電車の中で耳栓して集中するジイビーであった。（首肩こる〜）今回はここまで。次回の寄稿では、その2として CBT 試験の顛末と、もし合格していれば始めているであろう実技試験の練習状況について報告予定。

今回も雑駁な寄稿となりましたが、これが誰かのボケ対策（自己啓発）に繋がれば幸いです。Tnx！